

| 適用規格 | | TÜV認定品(R 50287187), UL認定品(E52653) | | | | |
|---------------|--|--|---|------------------|-------------------------|----------|
| 定 格 | 使用温度範囲 | -25℃ ~ +105℃ (通電による温度上昇分を含む) | 保存温度範囲 | -10℃ ~ +60℃ | | |
| | 電 圧 $\triangle 3$ | AC, DC 600 V (UL、TÜV認定) AC, DC 1000 V | 汚染度 | 3 | | |
| | 電 流 $\triangle 3$ | $\square 1 \rightarrow$ | 適合ケーブル | $\triangle 3$ | $\square 1 \rightarrow$ | |
| | 保護等級 | IP20 | | | | |
| 性 能 | | | | | | |
| | 項 目 | 試 験 方 法 | 規 格 | QT | AT | |
| 構 造 | 外観、構造及び仕上げ | 目視、寸法測定器にて測定する。 | 図面と合致していること | ○ | ○ | |
| | 表示 | 目視にて確認する。 | | ○ | ○ | |
| 電 気 的 性 能 | 接触抵抗 | 単位コネクタをDC 1 Aで測定する。 | 0.5 mΩ以下 | ○ | ○ | |
| | 絶縁抵抗 | DC 500 Vで測定する。 | 1000MΩ以上 | ○ | ○ | |
| | 耐電圧 | AC 3310 Vの電圧を1分間印加する。 | せん絡・絶縁破壊がないこと | ○ | ○ | |
| 機 械 的 性 能 | コネクタの挿抜力 | - の鋼製ピンで測定する。 | 挿抜力 - 以上 | - | - | |
| | コネクタの挿抜力 | 適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構は除く。 | 挿抜力 70 N 以下(初期) | ○ | - | |
| | 繰り返し動作 | 30 回の抜き差しを行う。 | ①機能を損なう破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②接触抵抗: 1 mΩ以下 ③挿抜力 100 N 以下 | ○ | - | |
| | 耐振性 | 周波数 10~55~10Hz/サイクル、片振幅0.75mm、 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。 | ①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | - | |
| | 耐衝撃性 | 加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 6方向各 3 回試験する。 | ①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | - | |
| | 端子固定力 | 結線側より、150N の引き抜き力を加える。 | 破壊がないこと。 | ○ | - | |
| 環 境 的 性 能 | 定常状態の耐湿性 | 温度40℃、湿度90~95%中に96時間 放置する。 | ①絶縁抵抗: 10MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 100MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと | ○ | - | |
| | 温度サイクル | 温度 -55℃ → 常温 → +105℃ → 常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル試験する。 | ①絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと | ○ | - | |
| | 塩水噴霧 | 濃度 5%の塩水、48 時間放置する。 | 機能を損なうようなはなはだしい 腐食がないこと。 | ○ | - | |
| | 耐熱性 | 温度 +105℃中に 96 時間放置する。 | 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | - | |
| | 耐寒性 | 温度 -55℃中に 96 時間放置する。 | 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 | ○ | - | |
| | △の数 | 訂正記事 | 設計 | 検図 | 年月日 | |
| $\triangle 3$ | 4 | DIS-C-00001404 | DS. MATSUNE | HY. KOBAYASHI | 17.01.27 | |
| 備考 | (注2) 本品は静止状態での使用を想定しておりますので、 振動が掛かる場所でのご使用はお避け下さい。 (注3) 上記規格値は適合コネクタを組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。 | | | 承認 | SU. OBARA | 13.07.09 |
| | | | | 検 図 | HY. KOBAYASHI | 13.07.09 |
| | | | | 担 当 | HS. KAWASHIMA | 13.07.09 |
| | | | | 製 図 | HS. KAWASHIMA | 13.07.09 |
| 注 | QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目 | | 図番 | SLC-118307-00-00 | | |
| HRS | 製品規格表 | | 製品名 | EM12MP-1PCB | | |
| | ヒロセ電機株式会社 | | 製品コード | CL138-0033-0-00 | $\triangle 3$ 1/2 | |

3

1 定格電流と適合ケーブル

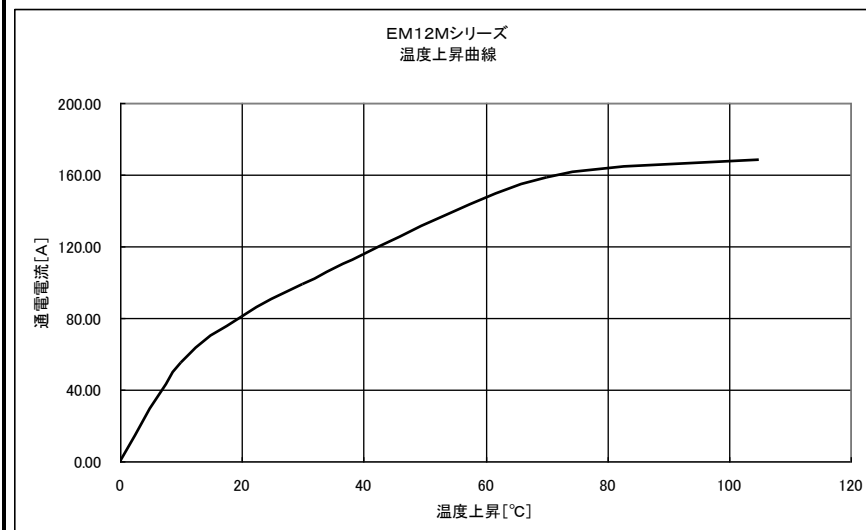
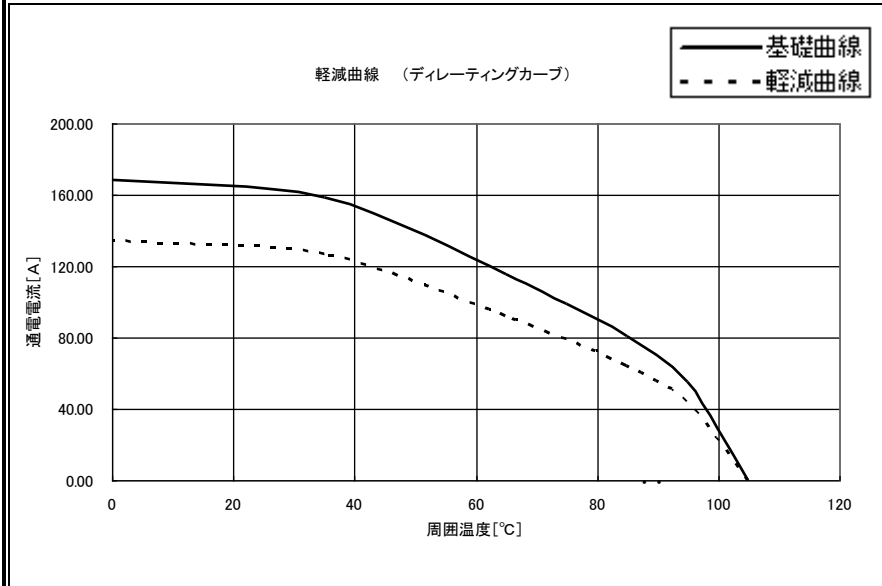
本品の適合ケーブル、定格電流の関係は、表1に示します。

表1. 定格電流及び適合ケーブル

| | | |
|-----------|---|---|
| 定格電流 (注5) | 90A (UL, TUV 認定), 130A (周囲温度 25℃時) | 70A (UL, TUV 認定) |
| 適合ケーブル | 38 (22.66~42.42) mm ² AWG 2 | 14 (10.52~16.78) mm ² AWG 6 |
| | 22 (16.78~26.66) mm ² AWG 4 | |

但し、定格電流は周囲温度により変わりますので、下記のディレーティングカーブを参照下さい。

[参考] 22mm² (AWG 4) ケーブル使用時のディレーティングカーブ



(注4) 軽減曲線は、基礎曲線の電流値に0.8の軽減係数を乗じた曲線です。

(注5) 定格電流は、コネクタが使われる周囲温度により変わります。

軽減曲線(破線)より内側でのご使用をお勧めします。

又、UL、TUV規格をコネクタに適用する場合は、軽減曲線より内側及び記載範囲内での御使用をお願いします。

(注6) 本製品のディレーティングカーブの測定方法は以下によります。

- ・試験前の初期品を使用。
- ・使用するケーブルの導体断面積: 22mm²
- ・静止状態で通電し、測定。

注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 O: 適用項目

図番

SLC-118307-00-00

HRS

製品規格表

製品名

EM12MP-1PCB

ヒロセ電機株式会社

製品コード

CL138-0033-0-00

△

2/2